

専門高校生グローバルチャレンジ事業（担当課：高校教育課）

本事業は、専門高校生を対象に、本県企業等の海外進出先でのインターンシップ、最先端企業視察、現地高校生等との交流活動等を体験させることで、国際的な感覚と広い視野を持ち、将来は本県産業界の発展に貢献できるグローバルな視点を備えた産業人材を育成するものです。

令和6年度は、研修地にフランスを選び、商業、家庭を学ぶ8名を派遣しました。熊本県は令和5年10月、フランス・ディジョンメトロポールと国際交流促進覚書(MOU)を締結しています。ディジョン市のガストロノミー(食文化)や観光、福祉などの取り組みは、専門の学びをいかして、県内各地域で課題解決につながる学習を行っている生徒たちにとって大きな学びになりました。

本研修の成果は、「熊本県産業教育振興会産学懇談会」をはじめ、各学校や地域においても、様々な機会を捉えて派遣生徒が報告を行っています。

研修の内容

研修名		研修先及び内容等
9/21	第1回事前研修	講話「私の体験してきたフードビジネス～特産品作りの日仏対比～」 グループワーク「海外派遣研修までに私が準備すべきこと」
10/11	第2回事前研修	語学研修・講話「県内産業の紹介」・講話「フランスのガストロノミーについて」 講話「高齢者に対するコミュニケーション技法」・グループワーク「フランス派遣研修に向けて」(フランス派遣研修の目標・学びの成果物の準備報告)
10/28 ～ 11/2	フランス派遣研修	○OPAD(ディジョン市高齢者協会)意見交換 ○ディジョン市保育園見学・保育施策説明 ○チーズ工場フロマージュリー・ゴーグリー視察 ○「CITE(ガストロノミーとワイン国際文化館)」見学 ○地元高校生らとの交流(学びの成果物発表・街歩き) ○ディジョン市屋内市場視察 ○ディジョン国際&美食フェア(ガストロノミー見本市)視察 ○パリ市内研修
11/6	第1回事後指導	フランス派遣研修のまとめ
11/14	第2回事後指導	熊本県産業教育振興会産学懇談会にて研修成果報告



助成対象者の声

- ・「グローバルな人材」とは、相手を理解しようとする姿勢を持つ人だと気付いた。理解しようとする姿勢を持つことで会話が始まり、打ち解け合い、お互いの本質の理解にもつながると考えた。
- ・研修で学んだフランスの美食精神やマーケティング、接客の仕方などを将来のビジネスに取り入れていきたい。
- ・ディジョンのような地方都市では、石造りの家々や広大な牧場で放牧されている白い牛、数多くある教会がとても印象的だった。フランスの方々の日常生活に触れることで、日本とは異なる価値観や考え方が身近に感じられた。
- ・興味を持ったことや、挑戦したいと思ったことを諦めず、まず一步を踏み出して見て、自分がどうすべきか、どうしたらこれからが良くなるかを考えて行動していくことが最も大事なことだと気付き、行動に移すことができた。
- ・事前研修で目標を立てたことで自分の成長に気付いた。これから何かに挑戦するときは自分がどれだけ成長できたかを分かるように目標を立てるようにしたい。